

大阪教区教役者の皆様へ

主教 アンデレ 磯 晴久

新型コロナウイルス感染防止対応について（第4次）

2020年4月2日

☆まず祈りましょう。

主よ、新型コロナウイルス感染症に苦しむ世界のために祈ります。

神さま、どうか苦しむ人々を支え、病への恐れと不安を取り除いてください。

希望のよりどころである神さま、病に苦しむ人に必要な治療と保護が与えられますように、医療に携わる人を感染からお守りください。残念ながら逝去された多くの方々に、大いなる平安をお与えください。またその家族をお守り下さい。共にいてくださるあなたに支えられ、不安と混乱に襲われた世界が希望を取り戻すことができますように。わたしたちの主イエス・キリストによって、お祈り致します。アーメン。

主の平和

新型コロナウイルスの感染が世界に広がっています。日本国内でも感染者が増え、どこでうつったのか、リンクが負えない人も増えています。感染者の多い地域への移動抑制：制限を呼びかける声も、大きくなっています。教育機関の再開もまだ先の見通しが立ちません。

皆様も判断に苦慮しておられることと存じます。

先日第3次のお知らせで、4月以降の主日礼拝の緩やかな再開を申し上げましたが、刻々状況が変化する中、現在の状況を鑑みて、再開は難しいという判断をされた教会もあります。また、復活日には複数回の礼拝を行い、一度にたくさんの方が集まらないように工夫する教会もあります。各教会で状況の違いもありますので、それぞれの教会の判断を主教として支持します。

一方、4月1日に新型コロナウイルス対策を検討する政府の専門家会議より、東京や大阪・兵庫は感染拡大警戒地域とされました。わたしたちも、気を緩めずに対応しましょう。

主教として、現時点で更なる大きな状況の悪化があると判断し、大阪府下・兵庫県下の主日礼拝を5月3日まで中止と致します。主教巡回が決まっている教会や堅信式が予定されている教会は、恐れ入りますが主教までご連絡ください。

管理牧師と囑託や協力司祭としてご奉仕頂いている聖職は、従来通りよく連絡を取り合って対応をよろしく願います。

4月6日(月)18:00からの大阪教区教役者の集いは川口基督教会礼拝堂で実施致しますが、体調を崩しておられる方、退職聖職で夜間の外出が難しい方はどうぞ無理ないようにしてください、メール等でご意見をお寄せくだされば幸いです。また4月9日(木)に予定しておりました「司祭按手の更新」礼拝は5月20日(水)午前11:00に延期致します。教区事務所だよりにありました聖餐制定記念聖餐式は中止です。

その他、委員会の開催も延期できるものは延期し、メール上での開催も検討ください。

もしも新型コロナウイルスで逝去された方があった場合、葬儀社とよく連絡を取り合い、しかし、牧会的配慮は怠ることなく、下記の注意事項を守って葬儀を行ってください。

以下のことは、今後も気を付けてください。礼拝を行う時・・・・・・・・・・→

(ア) 体調が不良の場合は無理をせず、主日礼拝参加の自粛をお願いします。また、高齢や基礎疾患があって主日礼拝に参加することが不安な方も同様です。自覚症状のない若い方も、無症状での感染を広げないよう礼拝出席については十二分に留意してください。

(イ) 司祭は、礼拝・聖餐式前に、必ず十分に手洗いを行ってください。執事・待者・奉仕者も十分な手洗いを行ってください。

(ウ) 礼拝・聖餐式を司式する司祭は、熱があったり、咳が出たりするなど風邪の症状がある場合、司式しないようにしてください。

(エ) 礼拝の前後や礼拝中は、なるべく礼拝堂の窓を開け、換気に心がけてください。

(オ) 礼拝堂内ではなるべく離れて座るように、可能ならば座席の前後の間隔を広げたり、椅子の置く範囲を広げたりしてください。

(カ) 礼拝に参加する場合は、マスクを着用してください。聖書朗読者や侍者であってもマスクを着用してかまいません。

(キ) 当面の間、チャントや聖歌は歌わないでください。会衆が答える箇所では、代表がマイクで答え、会衆は大きな声で答えないように留意してください。

(ク) 礼拝堂や会館などの入口には、手指消毒用のアルコールを設置するよう心掛けてください。

(ケ) 礼拝や集会後の皆が集まったの飲食は控えましょう。

(コ) 不要不急の外出は控え、やむを得ず集まったとしても、密閉・密集・密接の感染リスク3条件に陥らないように工夫しましょう。

この災禍の一日も早い終息のために祈りましょう。+Andrew